

三菱商事

中期経営戦略2018

成長の加速へ向けて

2018年5月8日

三菱商事株式会社

社長 垣内 威彦

中期経営戦略2018の進捗

■「中期経営戦略2018」で掲げた定量目標は、全ての項目で達成。

	「中経2018」で掲げた目標	成果
定量目標	2018年度純利益 3,000億円	17年度 5,602億円 (事業系 3,668、市況系 1,938) 18年度 6,000億円 (事業系 3,960、市況系 1,970) を計画
	2020年頃ROE二桁	17年度 10.9% 18年度 10.8%を計画
	累進配当方針 / 柔軟な増配	16年度 80円 、17年度 110円 18年度 115円 を計画

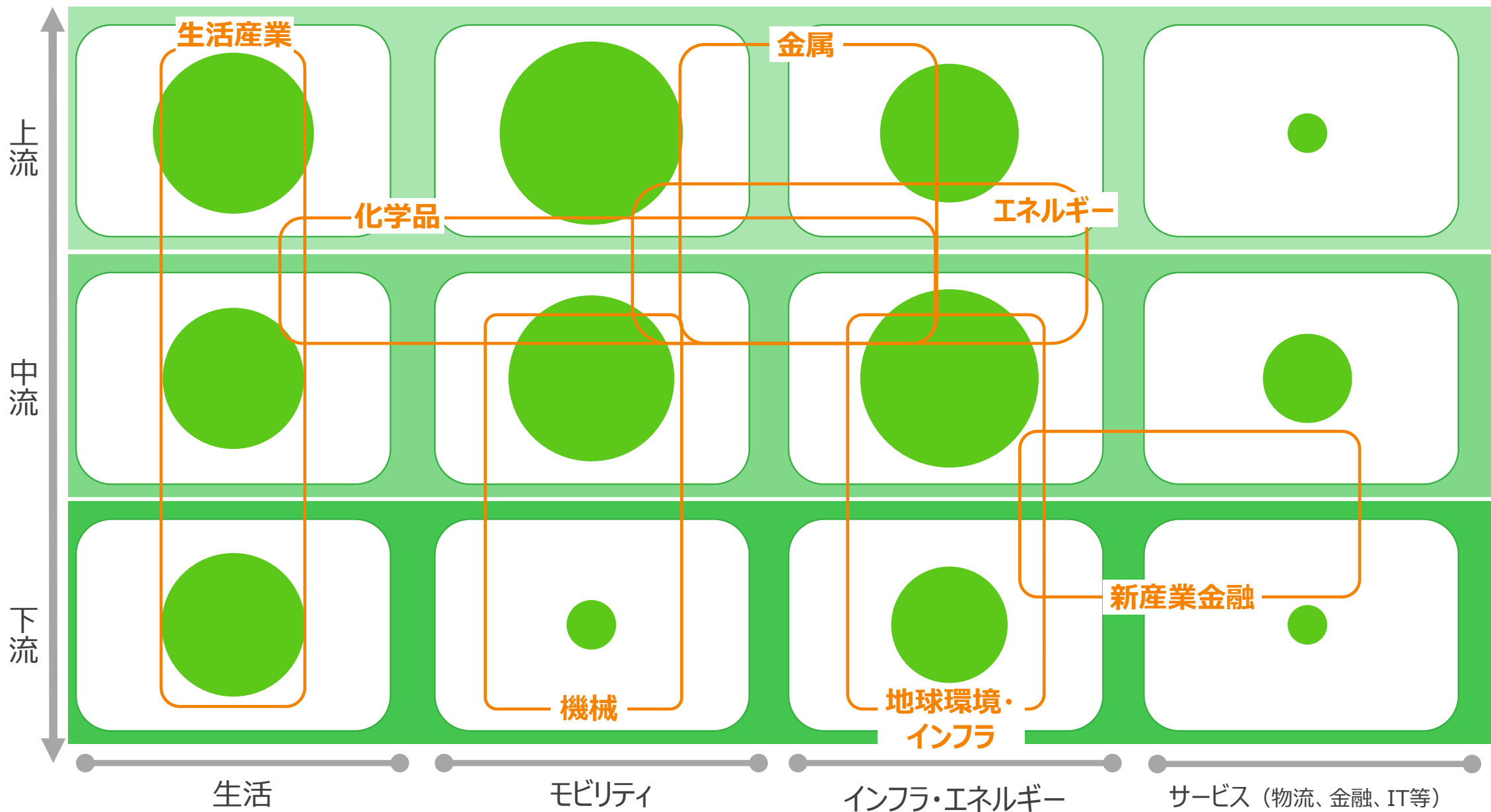
■本中経期間中に導入した仕組みによる成果も着実に進捗。更なる成長に向けた取組みを加速。

	仕組み導入による狙い	成果
経営の仕組み導入	A 最適バランス実現と「事業経営」へのシフトを可視化	A-1. 最適バランスの達成に目途 (2018年度末)
		A-2. 連結起点で権限体系を見直し、連結経営を深化
	B 成長に向けた全社による配分原資の活用	B-1. 事業ポートフォリオによる成長戦略の構築
		B-2. 成長メカニズムの構築と具体事例
	C 位置付け区分に基づき資産の入替を加速	C-1. シェールガス、一般炭、ニッケル等の売却・撤退
		C-2. 事業系収益水準の底上げ

事業ポートフォリオ戦略

■ 全産業を俯瞰し、外部環境の変化と自社の強みを考慮しながら、意図した事業ポートフォリオを構築していく。

● : 投融資残高イメージ



成長メカニズム

■ 事業ステージに応じて経営資源の投入量や権限委譲等を柔軟に変え、成長を優先した経営の仕組みへと進化する。

